



General mindをもった Specialistを目指す

京都中部総合医療センター臨床研修説明資料



2024.4

目次

「General mindをもったSpecialistを目指す」をモットーに研修医の皆さんが日々レベルアップできるようなプログラムを提供しています。

当院はJCEP認定病院です



1. General mindをもったSpecialistとは？
2. 当院の概要
3. 豊富な診療科で地域の高度先端医療を支える
4. 自由度の高いオリジナルのプログラムの作成が可能
5. ニーズに応じた研修医対象勉強会
6. 研修医の活躍
7. 同じ志をもつ仲間、集まれ！

1. General mindをもったSpecialistとは？

専門領域はもちろん、専門領域外に関しても自ら対応し総合医としての役割も果たせる医師

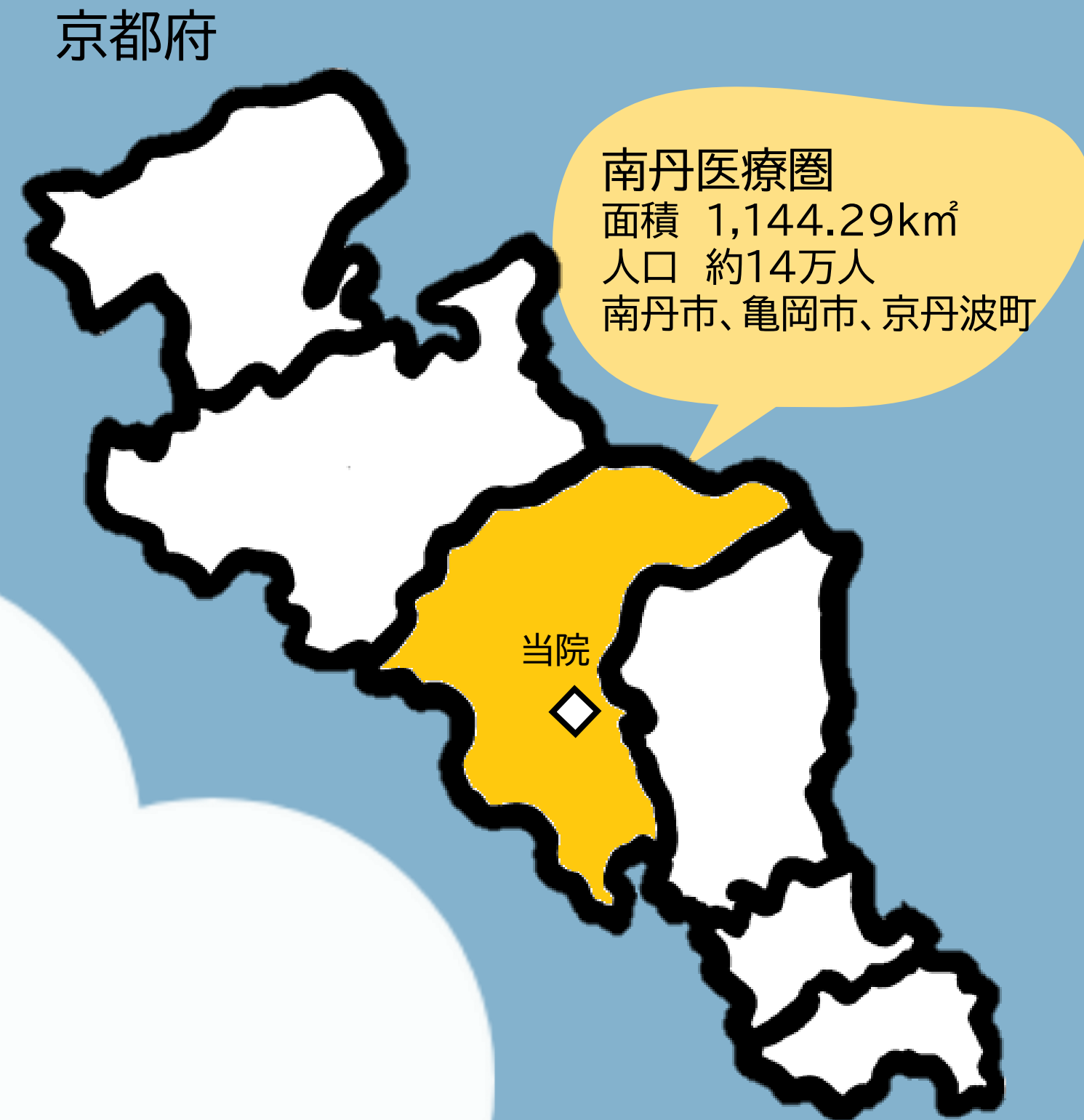
医師は様々な医療機関で勤務することが多く、パンデミックなどの社会や環境の変化に伴い、その時々で求められる役割に応じて対応する必要があります。状況に応じて自分に求められる役割を理解し、それを果たす能力は、研修医の将来のキャリア形成にとって非常に重要です。特に当院のような地域の中核病院に勤務する医師には、専門領域だけでなく、専門外の分野にも自ら対応できる総合医としての役割が求められます。そこで当院では、このように多様な役割を果たすことができる医師を「ジェネラルマインドを持ったスペシャリスト」と呼び、研修医の目指すべき目標としています。



2. 当院の概要

京都府南丹医療圏の中核病院として
地域完結型医療を提供しています。

医師は様々な医療京都府は6つの二次医療圏に分けられ、当院は京都府の約4分の1という広大な面積を占める2市1町からなる南丹医療圏に位置します。当院は超急性期、急性期、回復期医療を担い、地域完結型医療を提供する、病床数464床の地域の中核病院です。救急車搬入台数は年間3213台（2022年度、ドクヘリ含む）と多くの救急患者の受け入れを行っており、その中でCommon Diseaseから稀少疾患まで幅広い疾患を経験する機会があります。



3. 豊富な診療科で地域の高度先端医療を支える

循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、脳神経内科、肝臓内科、
内分泌代謝・糖尿病、総合診療科、脳神経外科、外科・消化器外科、小児
外科、呼吸器外科、乳腺外科、整形外科、リハビリテーション科、リウマ
チ科、心臓血管外科、小児科、産婦人科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、皮膚科、
眼科、精神科、麻酔科、放射線科、病理診断科

当直は、内科、外科系、産婦人科、小児科医師が24時間365日体制で行っています。
研修医の当直は1か月あたりおよそ4回で、これらの先生たちと一緒に診療を行います。

4. 自由度の高いプログラムの作成が可能

最初の半年は内科を中心に研修し、カルテ記載や身体診察など診療技術の基本の習得を目指します。

1年目に自由選択期間を設けているので志望診療科目を早めに研修できます。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
消化器内科	腎臓内科	脳神経内科	循環器内科	内分泌代謝・糖尿病	呼吸器内科	小児科	自由選択	救急			自由選択
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
自由選択	地域研修	自由選択or必修科目									

研修診療科は直前の変更や決定にも対応可能です

ローテーションの1例

- 必修科目**
- 1年次 内科(24週間), 救急^{※1}(12週間)
※1内科, 小児科, 外科, 整形外科, 産婦人科等の救急研修
 - 2年次 地域医療^{※2} (4週間)
※2川西診療所と国保京丹波町病院 (2週間ずつ)
 - 2年間 外科(4週間), 小児科(4週間), 産婦人科(4週間)
 精神科(当院2週間+福知会もみじヶ丘病院2週間)
 一般外来研修(4週間)

自由選択科目

内科 (循環器, 呼吸器, 消化器, 脳神経, 腎臓, 内分泌代謝・糖尿病, 総合診療科), 外科 (消化器, 乳腺, 小児), 整形外科, 泌尿器科, 小児科, 産婦人科, 麻酔科, 放射線科, 眼科, 耳鼻咽喉科, 皮膚科, 精神科, 病理診断科

5. ニーズに応じた研修医対象勉強会

診断推論カンファレンス

月に1~2回

名古屋から総合診療のスペシャリストをお招きする特別回も定期開催中です

当院の症例を中心に提示し診断までのプロセスを学び、直感で診断できない症例に対応するために論理立てて考える診療力を身につけます。

CPS勉強会

月に1回

医学知識と医学英語のinputとoutputを行い英語での発信力も鍛える！

医学週刊誌 New England Journal of Medicineの“Clinical Problem Solving”に毎月掲載される症例検討記事を読み解きます。希望者とは、外国人講師と行う英語でのディスカッションの練習も始めました！

救急フォローカンファレンス

救急研修中に月に2回

次の症例に生かすためには何が大切なのかを研修医のプレゼンを通して共有し学びます。

上級医や他診療科医師からフィードバックのあった救急症例を中心に省察し、誰もが陥りうる診断のpit fallを研修医がプレゼンします。上級医も非常に勉強になるカンファレンスです。

診断推論カンファレンスを軸に研修医の希望に応じて適宜変更や追加しています。

6. 研修医の活躍



日本内科学会近畿地方会は研修医の登竜門です

各種学会発表で受賞者も輩出しています

- 2023年 日本内科学会第241回近畿地方会 若手奨励賞 優秀賞
研修医 清水美咲先生
演題名 ニッケルアレルギーを有する労作性狭心症患者に対して、proBIO coatingを有するOrsiro stentで治療し得た1例
- 2022年 日本内科学会第235回近畿地方会 若手奨励賞 最優秀賞
研修医 村田修一先生
演題名 ADAMTS13 inhibitor boostingを来した後天性血栓性血小板減少性紫斑病の1例
- 2019年 日本内科学会第226回近畿地方会 若手奨励賞
研修医 羽藤沙恵先生
演題名 胸痛を主訴に受診された左側心外膜欠損症の1例

7. 同じ志をもつ仲間、集まれ！

全国から集まる仲間

2024年度の研修医12名の出身大学
京都府立医科大学附属病院たすき掛け2名含む

京都府立医科大学、愛知医科大学、宮崎大学、富山大学、
兵庫医科大学、近畿大学、徳島大学、熊本大学

その他の過去の研修医の出身大学

大阪医科大学、大阪市立大学、関西医科大学、滋賀医科大学、
金沢医科大学、福井大学、浜松医科大学、慶應義塾大学、島
根大学、信州大学、北里大学、産業医科大学、福岡大学、大
分大学、熊本大学、奈良県立医科大学、和歌山県立医科大学、
日本大学、香川大学、島根大学、聖マリアンナ医科大学など

選考方法

募集人数 5名（予定）

試験日 8月頃

選考方法 小論文、筆記試験、面接

- ✔ 募集要項の詳細は決まり次第病院ホームページに掲載します。

病院見学は随時受け付けています。

病院HPの申し込みフォームからお申し込みください。